

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	作業療法研究法Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部4年		学期及び曜時限	前期	教室名	702
担 当 教 員	林 亜遊					
実務経験と その関連資格	<p>実践: 作業療法士として精神科病院で5年勤務。精神障害者に対する地域における作業療法を15年以上実践。            資格: 認定作業療法士・教育修士(専門職)・認定医学教育専門家。ICR臨床研究入門 臨床研究の基礎知識講座、            日本学術振興会研究倫理eラーニングコース修了。            発表: 日本作業療法学会、近畿作業療法学会、大阪作業療法学会、日本医学教育学会大会などで学会発表、論文            発表など30編以上発表。            役員: 作業療法と生活リスクコミュニケーション学会理事・日本作業療法教育学会理事。日本作業療法学会・近畿作            業療法学会・大阪府作業療法学会・日本医学教育学会大会・リハビリテーション教育研究で演題査読員。日本作業            療法学会座長。作業療法教育学会で論文査読員。臨床実習指導者講習会講師・ファシリテーター。現職者共通研修            講師。</p>					
《授業科目における学習内容》						
<p>作業療法研究法Ⅰで作成した研究計画書を基に研究データの収集、分析し、発表資料、抄録、論文の作成を行います。授業は講義担当者の            ショートレクチャーを基に、ゼミの指導教員の指導を受け、ゼミメンバー一人ひとりが主体的学習者として研究活動を進めていきます。発表資料・            抄録・論文の作成過程において、研究に必要な科学的思考、問題解決能力、協同学習能力を身に付けていきます。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>本授業は卒業研究の実施に伴う卒業研究発表、抄録・論文・発表資料の作成について、授業開始時に示される評価基準(ルーブリック評価表)            に沿って、授業担当者、ゼミの指導教員、グループ内メンバー、クラスメイト、学習者自身からの包括的な評価を実施します。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>指定教科書: 作業療法研究法            参考図書: 自分たちで探した論文            準備物: パソコン(最低ゼミグループに1台)</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>授業内で示される課題に向けて、ゼミメンバー内、指導教員、授業担当者と協同しながら取り組んでください。パソコンや携帯電話などICTを有            効に活用されることを推奨します。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>強力なスケジュール管理と効果的な協同学習が求められます。建設的な話し合いを通じて、多様な学びを得てください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第 1 回	授業を通じての到達目標	授業の流れ、成績判定を理解する		シラバス		シラバスを読んでくる
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション				
第 2 回	授業を通じての到達目標	データの管理、分析の仕方を理解し説明できる		教科書 配布資料		データを持ってくる
	各コマにおける授業予定	データの管理、分析の仕方				
第 3 回	授業を通じての到達目標	データを分析する		パソコン		データを分析してくる
	各コマにおける授業予定	データの分析				
第 4 回	授業を通じての到達目標	データ分析結果を基に図表を作成できるようになる		配布資料、教科書		データを持ってくる
	各コマにおける授業予定	データの分析の結果、図表にする				
第 5 回	授業を通じての到達目標	図表を作成する		パソコン		図表を作成する
	各コマにおける授業予定	図表の作成				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	発表を通じて発表内容の課題を知る	パソコン	発表資料の準備
	各コマにおける授業予定	卒業研究学内発表会(プレ): 研究成果発表資料の提出		
第7回	授業を通じての到達目標	他のゼミの発表を聞き、自身の発表に取り込む	パソコン	発表資料の準備
	各コマにおける授業予定	卒業研究学内発表会(プレ)		
第8回	授業を通じての到達目標	発表内容についてフィードバックを受け、修正をする	パソコン	発表資料を持ってくる
	各コマにおける授業予定	卒業研究学内発表会(プレ)のフィードバック		
第9回	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションの仕方を理解する	レジュメ・教科書	発表資料・抄録・論文を作成
	各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの仕方		
第10回	授業を通じての到達目標	発表資料・抄録・論文を完成させる	パソコン	発表資料・抄録・論文を作成
	各コマにおける授業予定	発表資料・抄録・論文の作成		
第11回	授業を通じての到達目標	発表資料・抄録・論文を完成させる	パソコン	発表資料・抄録・論文を作成
	各コマにおける授業予定	発表資料・抄録・論文の作成		
第12回	授業を通じての到達目標	発表資料・抄録・論文を完成させる	パソコン	発表資料・抄録・論文を作成
	各コマにおける授業予定	発表資料・抄録・論文の作成		
第13回	授業を通じての到達目標	発表を通じて発表内容の課題を知る	パソコン	発表資料・抄録・論文を作成
	各コマにおける授業予定	卒業研究学内最終発表会(発表資料をレポートとして成績評価を行います)		
第14回	授業を通じての到達目標	他のゼミの発表を聞き、自身の発表に取り込む	パソコン	発表資料・抄録・論文を作成
	各コマにおける授業予定	卒業研究学内最終発表会(発表資料をレポートとして成績評価を行います)		
第15回	授業を通じての到達目標	発表内容についてフィードバックを受け、修正をする	パソコン	発表資料・抄録・論文を作成
	各コマにおける授業予定	卒業研究学内最終発表会フィードバック		